

報道関係者各位

株式会社ディスコ

### 5月1日時点の内定率は42.2%

～キャリアス就活2019 学生モニター調査結果 (2018年5月発行) 速報～

株式会社ディスコ(本社:東京都文京区、代表取締役社長:新留正朗)は、2019年3月卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)を対象に、5月1日時点での就職活動状況に関する調査を行いました。(調査期間:2018年5月1日～7日、回答数:1,197人)  
詳細については5月中旬発行の確報版にてお知らせします。

#### 1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は42.2%。4月(18.8%)より23.4ポイント上昇
- 前年同期実績(37.5%)を4.7ポイント上回る
- 就職活動を終了したのは全体の14.2%。継続者は85.8%

#### 2. 就活継続者が活動の中心とする企業

- 活動の中心は「業界トップ企業」20.5%、「大手企業」27.1%。大手狙いの学生が計47.6%
- 内定保持者では「内定企業よりも大きい企業が中心」が過半数(51.6%)

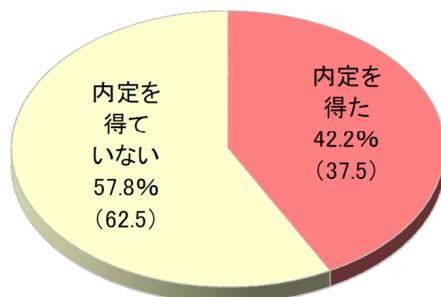
#### 1. 5月1日時点の内定状況

就職活動スタートから2カ月が経過し、内定を得る学生は一気に増えました。5月1日現在の内定率は42.2%で、先月調査(18.8%)からの1カ月で23.4ポイント増加しました。前年同期(37.5%)に比べ4.7ポイント高い水準です。

5月の内定率が4割台をマークするのは2015年卒者以来4年ぶりですが、当時は選考解禁が今より2カ月早い4月1日だったことを考えると、今年いかに早いペースで内定が出ているかがわかります。

内定者は4割を超えるものの、就職活動を終了した者は全体の1割台にとどまります(計14.2%)。残りの85.8%は活動を継続しており、内定の有無によらず多くの学生にとって山場はこれからです。

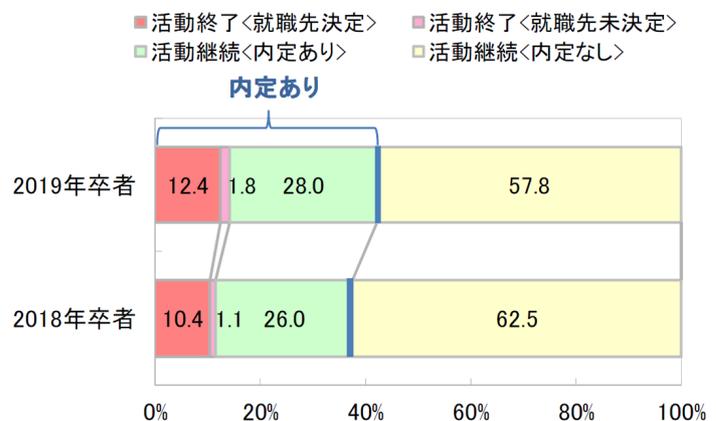
5月1日現在の内定状況

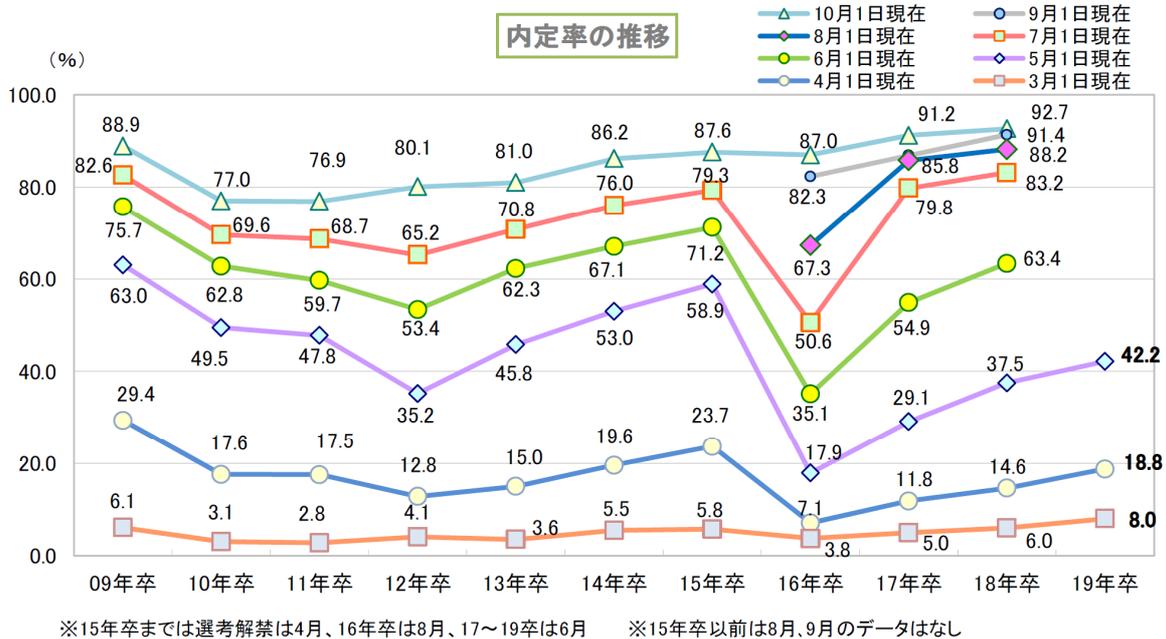


\*「内定」には、内々定を含む

※( )内は2017年の同調査での5月1日現在の数値

学生モニター全体の活動状況

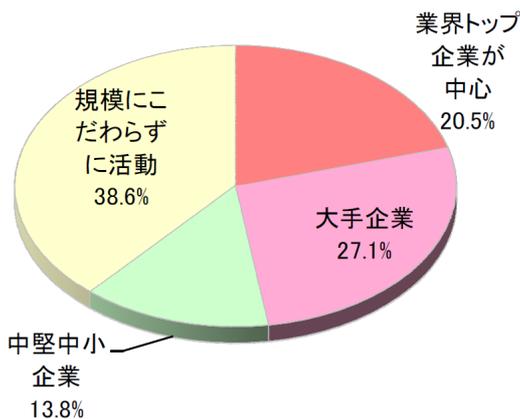




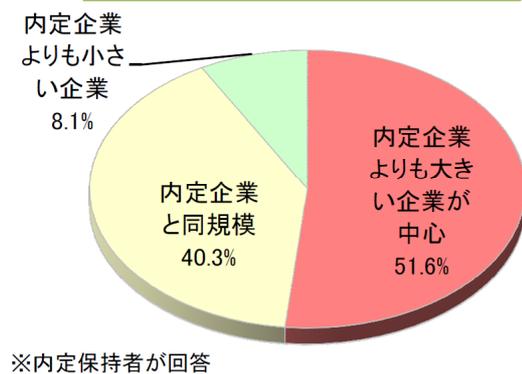
## 2. 就活継続者が活動の中心とする企業

就職活動を継続している学生（全体の 85.8%）に、就職活動の中心としている企業規模を尋ねたところ、「業界トップ企業」20.5%、「大手企業」27.1%で、大手狙いの学生が計 47.6%に上りました。さらに、内定を持ちながら就職活動を続けている学生に、内定保持企業と比較してもらうと、「内定企業よりも大きい企業が中心」が 51.6%と過半数で、大手企業の選考待ちの状態である学生が多いことがうかがえます。

### 就職活動の中心とする企業規模



### 就職活動の中心とする企業規模 ※内定企業との比較



### 【調査概要】「キャリアス就活 2019 学生モニター調査（2018年5月）」

調査対象：2019年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）  
 回答者数：1,197人（文系男子363人、文系女子372人、理系男子303人、理系女子159人）  
 調査方法：インターネット調査法  
 調査期間：2018年5月1日～7日  
 サンプルング：キャリアス就活 2019 学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）